

**記載例：特定施設の設置**  
**(公共用水域へ排出水を排出する工場・事業場用)**

様式第1 (第3条関係) (表面)

該当する部分以外は二重線で消す。

~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書~~

実際に届出書を提出する年月日を記載

年 月 日

尼崎市長 殿

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載。  
工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す委任状を添付  
【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載

〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇市〇〇町〇-〇-〇  
届出者 〇〇株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△1-1-1	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	63号ホ 廃ガス洗浄施設 66号 電気めつき施設	※施設番号
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">※備考 特定施設を設置等しようとする工場・事業場の名称、住所を記載</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">設置する特定施設の水濁法施行令別表第1の番号及び名称を記載</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【設置届出の場合】</b> 別紙(申請事項内容及び1~6)に記載し、汚水処理施設等、特定施設の設置に伴い変更のある場合は、二段書きとし、変更前は上段に赤字で記載</p> <p><b>【変更届出の場合】</b> 別紙1~6については、変更事項のない別紙は省略することができる。なお、変更した部分については、二段書きとし変更前は上段に赤字で記載</p> </div>
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

届出事項内容

(第5条第1項、~~第6条第1項又は第2項~~、第7条関係)

事業場名 株式会社

担当者職氏名 課

(電話) --

届出概要及び理由

※記載する内容が多くなる時は別葉に記載してください。

(工場事例)

・当社の△△事業場では汎用エンジン部品工場を設置していますが、新たに自動車部品製造ラインを新設します。新設ラインのうち、クロムめっき施設1基 (No.3) が66号電気めっき施設、部品塗装施設・塗装ブース (No.5) が63号ホ廃ガス洗浄施設に該当します。

・これらはいずれも有害物質使用特定施設に該当します。

・自動車部品製造ラインの新設により排出水量が増加しますが、一部製造ラインの廃止により、排出水量が同量減少するため、排出水量に変更はありません。

既設届出の記載事項から変更等がある別紙については有に、変更等がない別紙については無に○印をつける。

既許可又は届出記載事項の変更等の状況		別紙の添付状況	廃止予定の特定施設 (号番号・基数・廃止予定年月日)
特定施設の構造	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙1	・自動車部品製造ラインの新設にあわせて、一部製造ラインを廃止する予定。 ・これに伴い、66号電気めっき施設1基 (No.2)、63号ホ湿式スクラバー1基 (No.4) を廃止します。 ・廃止予定年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日  汚染状態 ——— 減 <input checked="" type="checkbox"/> 変らず <input type="checkbox"/> 増 排出水量 ——— 減 <input checked="" type="checkbox"/> 変らず <input type="checkbox"/> 増  (その理由) ・自動車部品製造ラインの新設により排出水量が増加しますが、一部製造ラインの廃止により、排出水量が同量減少するため、排出水量に変更はありません。 ・電気めっき施設及び塗装ブースの設置、電気めっき施設及び湿式スクラバーの廃止により、汚染状態、排出水量に変更はありません。
特定施設の設備	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙1の2	
特定施設の使用方法	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙2	
汚水等の処理の方法	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙3	
排出水の汚染状態及び量	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙4	
排出水の排水系統別の汚染状態及び量	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙5	
用水及び排水の系統	無・ <input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 別紙6	

添付図面内訳		添付の状況
工場付近見取図 (主要河川等への放流経路を含む)	別紙1関係	別図1
工場内の配置図 (主要な施設の配置図を含む)	別紙2関係	別図2
特定施設の構造図 (特定施設に関連する主要機械・主要装置、設備の配置図を含む)	別紙1関係 別紙1の2関係	別図3-1~3-4 別図4-1~4-4
施設の操業系統図 (フローシート)	別紙2関係	別図5
工場内排水経路図 (排水口の位置図を含む)	別紙3関係	別図6
汚水処理施設の構造図	別紙3関係	別図7
汚水処理施設の処理系統図 (フローシート)	別紙3関係	別図8

特定施設の構造

施設の工場・事業場内の番号、名称を記載		
工場又は事業場における施設番号	No. 3	No. 5
特定施設番号及び名称	66号 電気めっき施設	63号ホ 廃ガス洗浄施設
水濁法施行令別表第1の番号及び名称を記載 指定地域特定施設の場合は、「指定地域特定施設」と記載		
型 式	全自動バレル回転式 (△△△社製ZB-A1)	プッシュプル式対面型塗装ブース (△△△社製C36A)
施設の型式、メーカー名を記載		
構 造	槽材質：鋼板製+塩化ビニルライニング 電極材質：鉛 (構造図：別図3-1のとおり)	材質：FRP (構造図：別図3-3のとおり)
施設の構造材料、材質を記載し、構造図を添付		
主 要 寸 法	L H W ○m×○m×○m (構造図：別図3-2のとおり)	L H W ○m×○m×○m (構造図：別図3-4のとおり)
施設の寸法を記載し、構造図を添付		
能 力	○○製品○kg/日	○m <sup>3</sup> /分
施設の公称最大能力を記載		
配 置	めっき工場棟1階 (別図2のとおり)	めっき工場棟1階 (別図2のとおり)
施設が設置されている建物の名称や位置等を記載し 施設の配置が判る図面を添付		
特定施設使用届の際、政令改正時点ですで にその特定施設を設置済の場合に記載		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○○年○○月○○日	○○年○○月○○日
工事完成予定年月日	着手後3月	着手後3月
使用開始予定年月日	完成後	完成後
その他参考となるべき事項	自動車部品製造ライン 床面：コンクリート(厚さ○mm)及び樹脂コーティング 周囲：防液堤(コンクリート(厚さ○m)及び樹脂コーティング、容量○○m <sup>3</sup> ) (別図3-1のとおり)	自動車部品製造ライン 床面：コンクリート(厚さ○mm)及び樹脂コーティング 周囲：側溝、ためます 漏洩した場合、側溝・ためますに集水され、排水処理設備に送水される。 (別図3-3のとおり)
有害物質を製造、使用する施設については、流出、地下浸透防止対策について記載		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 3	No. 5
特定施設番号及び名称	66号 電気めっき施設	63号ホ 廃ガス洗浄施設
設備	地上配管×1 フランジ×1 防液堤	地下配管×1 排水溝×1 ためます×1
構造	地上配管：塩化ビニル製 フランジ：塩化ビニル製 防液堤：コンクリート及び樹脂コーティング 構造図：別図4-1のとおり	地下配管：ステンレス製 排水溝、ためます： ステンレス製 構造図：別図4-3のとおり
主要寸法	地上配管：直径○mm×○mm フランジ：径○×○mm 防液堤：○m×○m×○m (構造図：別図4-2のとおり)	地下配管：直径○mm×○mm 排水溝： 幅○mm×深さ○mm×○mm ためます：○mm×○mm×○mm (構造図：別図4-4のとおり)
配置	めっき工場1階 (配置は別図2のとおり)	めっき工場1階 (配置は別図2のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	着手後3月	着手後3月
使用開始予定年月日	完成後	完成後
その他参考となるべき事項		

施設に付帯する配管、ポンプ、排水溝、ためます等の設備名及び数量を記載

設備欄に記載した設備の材質を記載。検知設備を有する場合も記載、構造図面を添付

設備のうち、主なものについて寸法を記載

設備が設置されている建物の名称や位置等を記載、設備位置が判る図面を添付

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。  
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

届出対象施設が有害物質使用特定施設ではない場合、別紙1の2を省略することができる。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	No. 3	No. 5			
特定施設番号及び名称	66号 電気めっき施設	63号ホ 廃ガス洗浄施設			
設置場所	別図2のとおり	別図2のとおり			
操業の系統	別図5のとおり	別図5のとおり			
使用時間間隔	9:00~17:00	9:00~17:00			
1日当たりの使用時間	8時間	8時間			
使用の季節的変動	なし	なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	苛性ソーダ：○kg、□%液で使用 濃硫酸：○リットル、○%液で使用 無水クロム酸：○kg、△%液で使用 処理対象物：鋼板 ○○kg	洗浄液：上水○m <sup>3</sup> ガス発生源使用原材料：左欄のとおり			
施設を含む作業工程において使用する原材料の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記載 製品名を記載する場合は、SDS（安全データシート）を添付					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6~8	4~10	10~12	12~13
	BOD (mg/L)	20	40	100	200
	COD (mg/L)	20	40	300	500
	SS (mg/L)	20	40	300	500
	T - N (mg/L)	3	5	10	20
	T - P (mg/L)	0.4	0.6	1	2
	六価クロム (mg/L)	30	50	20	50
	Pb (mg/L)	5	10	5	10
n - ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	1未満	1未満	5	10	
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常 10	最大 15	通常	最大	
施設から排出される汚水等の1日の通常量及び最大量を記載					
その他参考となるべき事項	クロム還元後、総合排水処理設備へ	産廃処理する場合等に記載	廃液は全量産廃として業者へ処理を委託		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

施設から排出される汚水の水質について記載  
 種類・項目は、排水基準が定められている項目のうち原材料等より排出されるおそれがあるものを記載  
 汚水等の汚染状態は、汚水の処理前の水質について、操業状態等を考慮し通常と最大の計画値を記載  
 瀬戸内海地域の通常50 m<sup>3</sup>/日以上工場は、T-N(窒素)・T-P(りん)を必ず記載  
 「変更許可申請」・「変更届」の場合においては、変更のある箇所を二段書きにし、変更前は上段に赤字で記載し、下段に変更後を記載

変更のある場合は、変更のある箇所のみ二段書きとし、上段は赤字で「設置(変更)前」、下段には「設置(変更)後」の状況を記載

特定施設使用届の際、政令改正時点ですでにその処理施設を設置済の場合に記載

汚水等の処理の方法

上段：変更前  
下段：変更後

工場又は事業場における施設番号	洗浄排水処理施設									
処理施設の設置場所	別図(2)のとおり									
設置年月日	年	月	日	年	月	日				
工事着手予定年月日	既設			年	月	日				
工事完成予定年月日	既設			年	月	日				
使用開始予定年月日	許可後			年	月	日				
種類及び型式	〇〇社製 △△型		処理施設の型式、メーカー名を記載							
構造	材質：鋼+塩化ビニルライニング 構造図：別図6のとおり		処理施設の材質を記載し、構造図を添付							
主要寸法	〇m×〇m×〇m		処理施設の寸法を記載							
能力	〇m <sup>3</sup> /日		処理施設の1日又は1時間で処理できる水量を記載							
処理の方式	中和・凝集沈殿・ろ過		処理の具体的な方法を記載							
処理の系統	別図7のとおり		処理工程に関するをフローシートを添付のとおり							
集水及び導水の方法	別図2のとおり		処理施設までの集水導水方法を記載した図面を添付							
使用時間間隔	8:00~20:00		処理施設の1日のうちの使用時間帯を記載							
1日当たりの使用時間	12時間		処理施設の1日当たりの使用時間を記載							
使用の季節変動	なし									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	△%硫酸 PAC		○kg ▲kg	処理施設で使用する消耗資材の1日あたりの用途別使用量を記載						
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大		
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
	pH	6~8	6~8	2~14	6~8					
	BOD(mg/L)	20	10	30	10					
	COD(mg/L)	30	15	60	20					
	SS(mg/L)	40	20	60	30					
	n-ヘキサン抽出物含有量(mg/L)	2	1	4	2					
	N(mg/L)	5	5	10	10					
	P(mg/L)	0.1	0.05	0.2	0.1					
	Pb(mg/L)	2	<0.005	5	<0.005					
六価クロム(mg/L)	3	<0.04	6	<0.04						
量(m <sup>3</sup> /日)	5	5	10	20						
		15	15	25	25					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	脱水汚泥 <sup>○</sup> △t ((産廃として業者に処理を委託するとする。))		残渣の種類毎に記載 産廃処理する場合は、その旨記載							
排出水の排出方法	別図(1、2)のとおり		排水経路、排水口の位置を明示した図面を添付 排水先も記載							
その他参考となるべき事項										

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙 4

排水水の汚染状態及び量

排水口の名称、番号に記載  
雨水排水口を含め全ての排水口を記載

変更のある場合は、変更のある箇所のみ二段書きとし、上段は赤字で「設置(変更)前」、下段には「設置(変更)後」の状況を記載

「変更なし」

工場又は事業場における施設番号		排水口No. 1		排水口No. 2		排水口No. 3～5	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	pH	6～8	6～8	6～8	5.8～8.6	雨水専用排水口	
	BOD (mg/L)	10	10	25	30		
	COD (mg/L)	15	20	20	30		
	SS (mg/L)	20	30	50	70		
	n-ヘキサン抽出物含有量 (mg/L)	1	2	—	—		
	N (mg/L)	5	10	40	60		
	P (mg/L)	0.05	0.1	4	6		
	Pb (mg/L)	<0.005	<0.005	—	—		
	六価クロム (mg/L)	<0.04	<0.04	—	—		
<ul style="list-style-type: none"> <li>排水水の水質について通常の量及び最大の量を排水口ごとに記載</li> <li>排水基準が定められている項目のうち、排水口から排出されるものや排出されるおそれがあるものを全て記載 特定施設及び特定施設以外で使用等している物質や副生成する物質に注意</li> <li>項目が多い場合は別表を作成</li> </ul>							
1日の排水量について、「日平均値」を通常の欄に、「最も多い日量」を最大の欄に記載							
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大
		15	25	1	2		
その他参考となるべき事項							

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。



排水水の排水系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別								窒素含有量		※
排水口 No.	特定排水区分コード	業種その他の区分		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		
		ガイトライン区分	産 業 分 類	通常	最大	通常	最大	Qno	Qni	通常	最大	
特定排水水	1	1	202	2446	9	20	15	20	20		0.14	0.18
	1	1	202	2446	9	20	65	80	80		0.59	0.72
	1	4	232	オ	40	60	20	30	30		0.80	1.20
	2	4	232	ア	40	60	50	70	70		2.0	2.8
		合 計				150	200	200	0		3.53	4.90
特定排水水以外の排水水		種類及び用途		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)				
				通常	最大	通常	最大	通常	最大			
		合 計										
なるべき事項	☆：変更分 ★：追加分											

備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。  
 2 ※印の欄には記載しないこと。  
 3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m<sup>3</sup>/日) ÷ 1000  
 汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m<sup>3</sup>/日) ÷ 1000 です。  
 お願い：変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか(変更したか)分かるように、  
 ★、☆印等を記入してください。  
 その場合、その他参考事項欄に「☆印：変更部分」、「★印：追加分」等と書いてください。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

				指定項目の別				りん含有量				※
排水口 No.	特定排水区分コード	業種その他の区分		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		
		ガイトライン区分	産 業 類 分 類	通常	最大	通常	最大	Qpo	Qpi	通常	最大	
1	1	202	2466	0.6	1.4	15	20	20		0.009	0.012	
1	1	202	2466	0.6	1.4	65	80	80		0.039	0.048	
1	4	232	オ	4	6	20	30	30		0.08	0.12	
2	4	232	ア	4	6	50	70	70		0.2	0.28	
		合 計				150	200	200	0	0.328	0.460	
特定排水水以外の排水水		種類及び用途		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/		
				通常	最大	通常	最大	通常	最大			
		合 計										
なるべき事項	☆：変更分 ★：追加分											

備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

2 ※印の欄には記載しないこと。

3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m<sup>3</sup>/日) ÷ 1000

汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m<sup>3</sup>/日) ÷ 1000 です。

お願い：変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか(変更したか)分かるように、

★、☆印等を記入してください。

その場合、その他参考事項欄に「☆印：変更部分」、「★印：追加分」等と書いてください。

用水及び排水の収支を記載

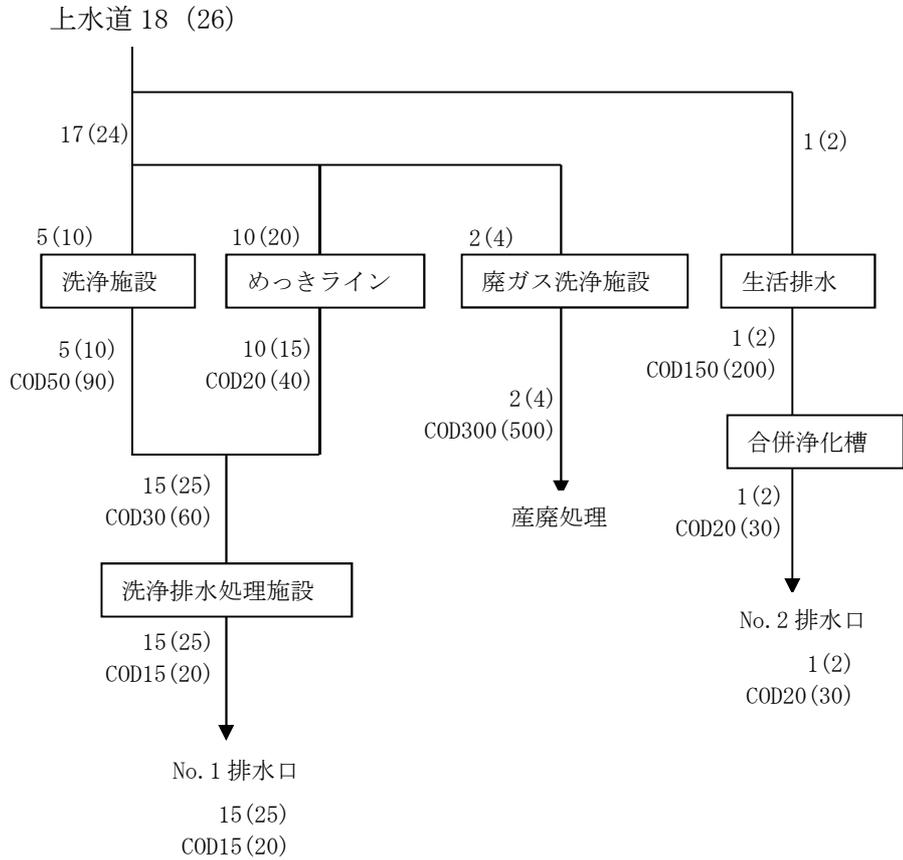
用水及び排水の系統

設置前後で変わりのない場合は、「変更なし」と記載

上段：変更前

下段：変更後

※記載する内容が多くなる時は別葉に記載してください。

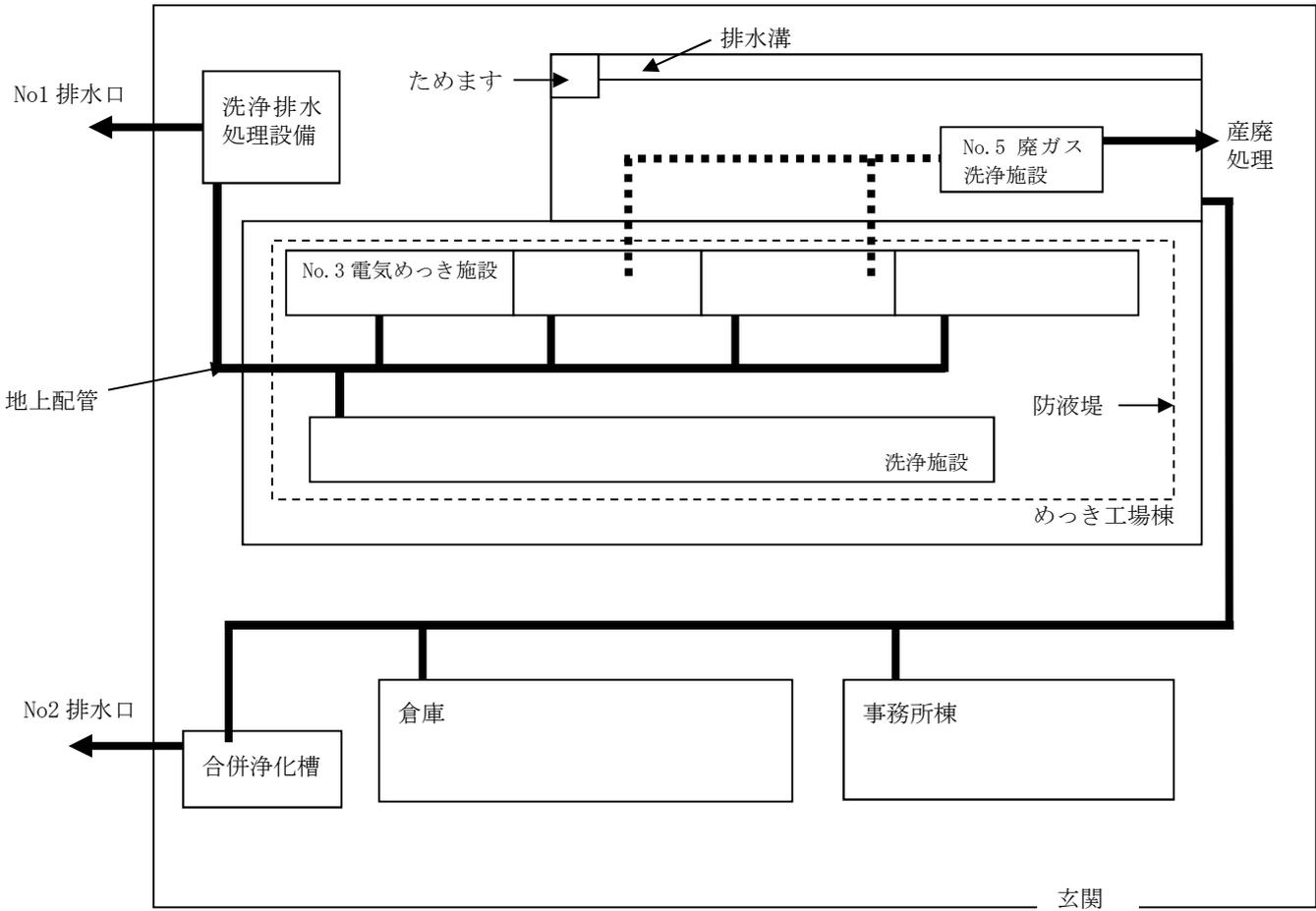


COD 以外の数値は通常水量 (最大水量) m<sup>3</sup>/日、COD は mg/L

用水及び排水の系統  
業種等の区分毎に記載

用途別 用水量	用途	使用水	用水量 (m <sup>3</sup> /日)
	洗浄用水	上水道	17
	生活用水	上水道	1
	合計	—	18

別図〇



〇〇株式会社△△事業所 平面図



この図面は、別紙1、別紙1の2、別紙3の添付図面の例です。  
 既存の図面に、必要箇所を追記したものでも構いません。